

科目名	文化論（和）		Subject	Culture Theory（Japanese）				
サブタイトル	明治から昭和までの髪型、化粧、服装と男女の和装、洋装の礼装について学ぶ。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回		なし	○			◎	○	
教員名	加藤 宏美			メールアドレス	hkato@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	○美容教職員の研修をもとに美容師国家試験の筆記試験に即した内容となっています。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要																	
日本の歴史的背景をもとに、現在の日本の美容における文化にどのようなつながりがあり変化をとげてきたのかを考え、それを他者に説明することができる。日本の伝統文化を理解するとともに美の成り立ちやありかたを知り、新たな美容文化の発想や創造につなげる。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		－		－		あり		あり		－							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP4		時代の背景による美容の考え方の違いを知り、自分らしさの表現を受け入れることができる。															
DP5		日本の歴史的背景を理解し伝統衣装である和装と洋装の理解を深め、美意識を備えて行動できる。															
DP1		日本の各時代のファッション文化を知り、ファッション、メイク、ヘアのトータルコーディネートを提案できる。															
教科書・教材																	
教科書		『文化論』日本理容美容教育センター（2025年）															
参考文献		授業時に説明															
各自準備教材		なし															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
60%		－		20%		－		－		－		－		20%		－	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
課題等の要点について授業内にて解説を行います。																	
履修上の条件・注意																	
各回の授業態度と課題提出は重要視します。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション	授業方針や授業内容を理解し、準備することができる。	次回の授業の準備を行う。	60 分
第 2 回	日本の美容の歴史① 江戸時代から近代の美容業	社会の変化と美容業の歴史について理解し説明することができる。	第 2 回の授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 3 回	日本の美容の歴史②近代～現代	近代から現代までの日本の美容の歴史について理解し説明することができる。	第 3 回の授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 4 回	ファッション文化史① 縄文～古代	縄文～古代の理美容について理解し説明することができる。	第 4 回の授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 5 回	ファッション文化史② 古代～中世	古代から中世の理美容について理解し説明することができる。	第 5 回の授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 6 回	ファッション文化史③ 中世～近世	中世～近世の理美容について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 7 回	ファッション文化史④ 近世（明治時代）	明治時代の理美容について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 8 回	ファッション文化史⑤ 近世（大正時代）	大正時代の理美容について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 9 回	ファッション文化史⑥ 近世（～昭和 2 0 年）	昭和 2 0 年までの理美容について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 1 0 回	ファッション文化史⑦ 現代（～1 9 5 0 年）	1 9 5 0 年までの理美容について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 1 1 回	ファッション文化史⑧ 現代（～1 9 7 0 年）	1 9 7 0 年までの理美容について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 1 2 回	ファッション文化史⑨ 現代（～1 9 8 0 年）	1 9 8 0 年までの理美容について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 1 3 回	ファッション文化史⑩ 現代（～1 9 9 0 年）	1 9 9 0 年までの理美容について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 1 4 回	ファッション文化史⑪ 現代（～2 0 1 0 年）	2 0 1 0 年までの理美容について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。	60 分
第 1 5 回	礼装の種類	和装及び洋装の礼装について理解し説明することができる。	授業内容を復習し、課題について教科書や参考文献を読み日本の美容の文化史についてまとめる。	60 分